

消防出初め式

1月7日（土）、新春恒例の消防出初め式が、比企広域消防本部総合訓練場において行われました。

参加した団員たちは厳粛な雰囲気の中、規律を保持し、确实軽快な部隊行動を行っており、その一挙手一投足は頼もしさを感じました。その後、村役場に戻り、玄関前で交通指導隊も参加して、今年1年大きな事故や災害が起こらないよう消防団活動の安全を祈願しました。



公民館講座 しめ縄作り教室を開催しました



12月17日（土）、ふるさと館において、しめ縄作り教室を開催。8名の方に参加していただきました。

講師の関根高義さん（御堂）から、しめ縄の由来やわらで作る意味、ない方などを学びながら、参加者一人ひとりがしめ縄を作りました。

関根さんに教わりながら、二人がかりでござう締めのお飾りを作る方や、飾る部屋ごとに形の異なるしめ縄を作る方など、新しい年を迎える準備ができたようです。

年末年始の‘柴集落の風物詩’ 楮かしき・皮むきを取材しました



坂本の柴区では、柴観光果樹農園組合の有志の皆さんが年末年始に集まり、楮かしきと皮むきを行っています。組合長の田中寿さんにお話をうかがったところ、昨年12月下旬から今年の1月上旬に4日間をかけて切り取った楮の量は、なんと1,700kg！この楮からおよそ100kg分の和紙の原料が作られるそうです。大晦日の作業日には他の地区や小川町の方、細川紙・大河原和紙技術者研究生もボランティアで参加してくれたと笑顔でお話いただきました。和紙の原料となるのは楮の皮。まずは楮を切りそろえて束ね、大きな釜で蒸かします。その後冷めないうちに皮をむき、天日干しをして仕上げていきます。「みんな本業があってもこの時季に集まり、話をしながら作業する。そうやって交流しながら作業することはなかなか無いけれど、これが大切なことなんだ。」との話もいただきました。

東秩父村が誇る和紙文化を支えているのは、その文化を守ろうと活動を続ける人々の温かいつながりなのだわかりました。取材にご協力いただき、ありがとうございました。

元プロ選手による野球教室を実施

12月24日（土）、ふれあい広場にて元プロ野球選手である宮本和知氏（元読売ジャイアンツ）と高橋雅裕氏（元千葉ロッテマリーンズ）を講師に招き、野球教室を実施しました。対象は、東秩父村スポーツ少年団「埼玉ジャイアンツ」の選手。宮本氏の教える投手組と、高橋氏の教える野手組の2つのグループに分かれ、プロ視点の心構え、細かな動作、また体の置き方・向きなど、野球に必要な“心技体”について、一人ひとりコミュニケーションをとりながらご指導いただきました。指導を受け、すぐ実践する子どもたちの姿は「たくさん学んでうまくなりたい！」という気持ちが溢れ、とても活気に満ちていました。この野球教室で得た貴重な経験は、子どもたちの財産となり、そして今後さらなる躍進へのきっかけとなることを期待しています。

